

園名募集の考え方（案）

1 基本的な考え方

就学前の子どもたちに、豊かな育ちと学びを一体的に提供する新たな施設として、園の目指す理念を表すとともに、地域に根差した施設として親しまれるよう、過去の公募時と同様、「地域からの親しみやすさ」と「子どもの育ちへの願い」を組み合わせた園名とすることを基本とする。

2 募集内容

平成27年度（実績）

対象施設

草津市立第五保育所 → 草津市立矢橋ふたばこども園〔幼保連携型〕

草津市立笠縫東幼稚園 → 草津市立笠縫東こども園〔幼稚園型〕

募集内容

園名案の視点（例えば次の視点で考えてください）

- わかりやすい園名であること。
- 地域からも親しみやすい園名であること。
- 心豊かでたくましく生き、未来をつくる子どもになってほしいとの願いが込められた園名であること。

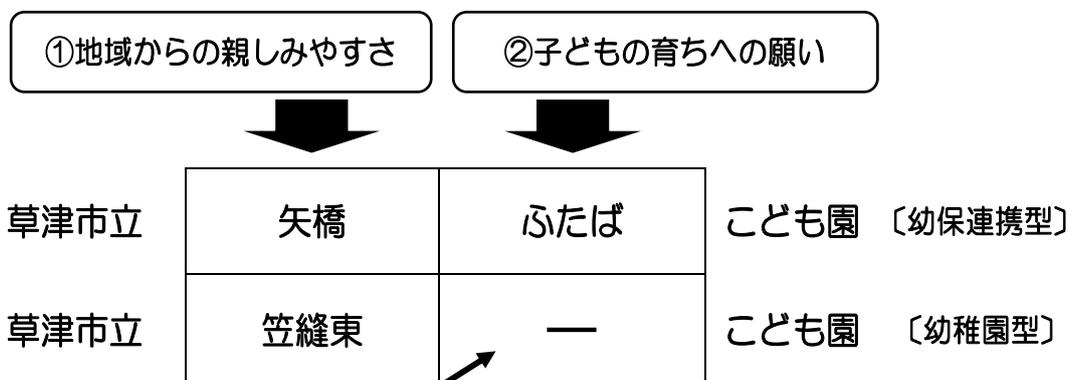
募集内容

「草津市立_____こども園」

① 地域名がついた園名とつかない園名の両方が考えられるが、どちらの園名も可として募集した。



② 応募のあった園名の中から、「地域からの親しみやすさ」「子どもの育ちへの願い」の視点から次のように整理し、決定された。



※笠縫東幼稚園の園歌に「子どもの育ちへの願い」が込められており、その園歌を継承することができるよう、園歌の歌詞に合わせ「笠縫東幼稚園」→「笠縫東こども園」とされた。

平成28年度（実績）

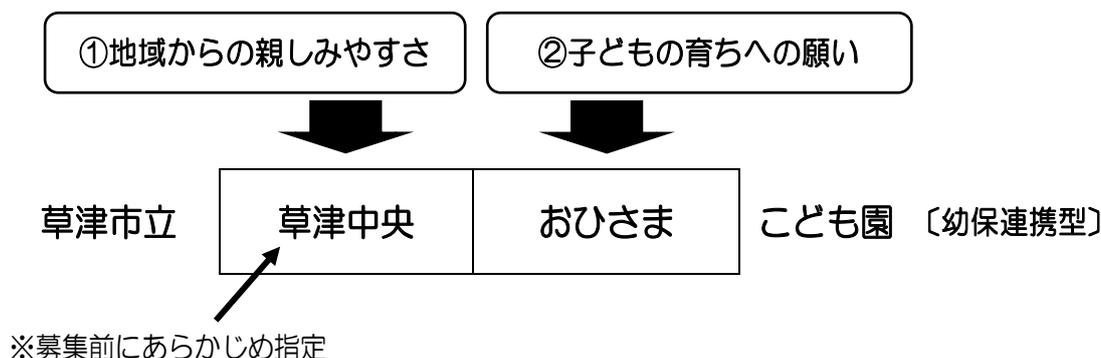
対象施設

草津市立草津保育所 → 草津市立草津中央おひさまこども園（幼保連携型）
草津市立中央幼稚園

募集内容

園名案の視点（次の視点で考えてください）
●わかりやすく、親しみやすい園名であること。 ●子どもの育ちへの願いが込められた園名であること。
募集内容
「草津中央〇〇〇こども園」 ※〇〇〇に言葉を入れてください。（文字数は問いません。）

- ① 平成27年度に「地域からの親しみやすさ」の視点として地域の名称（矢橋、笠縫東）が採用されたことや、園名の中に使用する言葉を指定しない場合、選定の際に整理がつきにくいことから、当初事務局案では『草津〇〇〇こども園』で委員会に提案
- ② 地域に親しみのある『草津保育所』と『中央幼稚園』の両方の言葉を残すため、『草津中央』を園名の中に使用することを指定し、募集した。
↓
- ③ 応募のあった園名の中から、「地域からの親しみやすさ」「子どもの育ちへの願い」の視点から次のように整理し、決定された。



平成30年度（案）

対象施設

草津市立志津幼稚園 → 草津市立 こども園〔幼稚園型〕
草津市立山田幼稚園 → 草津市立 こども園〔幼稚園型〕

募集内容（案）

園名案の視点については、平成27年度と平成28年度を踏襲する。
園名の提示方法については、次の2案が考えられる。

案1 (地域名等の使用を指定しない場合)

平成27年度の募集と同様、使用する言葉を『こども園』のみ指定し、募集する。

園名案の視点 (次の視点で考えてください)

- わかりやすく、親しみやすい園名であること。
- 子どもの育ちへの願いが込められた園名であること。

募集内容

「草津市立〇〇〇こども園」

※〇〇〇に言葉を入れてください。(文字数は問いません。)

案2 (地域名等の使用を指定する場合)

平成28年度の募集と同様、「地域からの親しみやすさ」の視点から、『志津』、『山田』または『別の語』も使用する言葉として指定し、募集する。

園名案の視点 (次の視点で考えてください)

- わかりやすく、親しみやすい園名であること。
- 子どもの育ちへの願いが込められた園名であること。

募集内容

「草津市立志津〇〇〇こども園」

「草津市立山田〇〇〇こども園」

※〇〇〇に言葉を入れてください。(文字数は問いません。)

※〇〇〇に言葉を入れない応募も可とします。(「志津こども園」「山田こども園」)

※ **案1** ・ **案2** いずれの場合も、

志津幼稚園と山田幼稚園には、長年引き継がれ、親しまれている園歌があり、認定こども園への移行後もその園歌を継承するという選択肢もあるため、

「志津こども園」、「山田こども園」という園名での応募も可とする。

志津幼稚園の園章・園歌（概要）

園章	作者	堀池 保 (当時 志津小学校校長 兼 志津幼稚園長)
	作成年	昭和31年
	園章の由来 (園章の表すもの)	不明
園歌	作詞	太田 源太郎 (当時 志津小学校校長 兼 志津幼稚園長)
	作曲	森井 嘉子 (当時 志津幼稚園主任) 福井 恵子 (当時 志津幼稚園教諭)
	作詞・作曲年	昭和59年度(昭和60年3月)

< 草津市立志津幼稚園 園章 >



< 草津市立志津幼稚園 園歌 >

「園歌」

作詞 太田 源太郎

作曲 森井 嘉子、福井 恵子

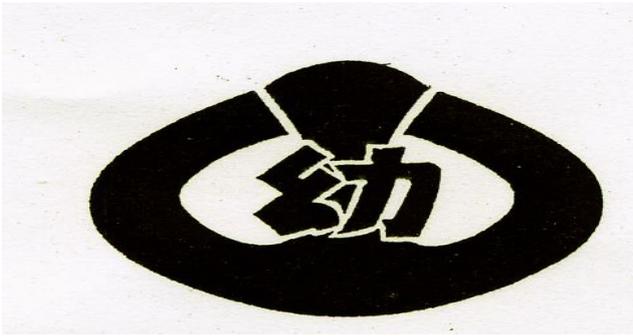
1. みどり いっぱい はな いっぱい
ひろい おにわで あそびます
ことりと いっしょに うたいます
ぼくも わたしも おともだち
たのしい なかよし しづようちえん

2. おひさま にこにこ かおだした
おつむ あつめて かんがえる
たのしい おはなし いただきます
ぼくも わたしも おともだち
げんきな なかよし しづようちえん

山田幼稚園の園章・園歌（概要）

園章	作者	山田 隆雄（元山田小学校長）他 関係者
	作成年	昭和48年
	園章の由来 （園章の表すもの）	「山」を原型とし『充実』『和』『発展』を象徴するイメージで考案
園歌	作詞	駒井 元悦（こまい げんえつ）
	作曲	曾根 威彦（そね たけひこ）
	作詞・作曲年	昭和48年度（昭和49年1月）

< 草津市立山田幼稚園 園章 >



< 草津市立山田幼稚園 園歌 >

「園 歌」

作詞 駒井 元悦

作曲 曾根 威彦

1. わたしらよい子 山田の子
みんな元気に あつまって
小鳥のように うたいましょう
楽しい楽しい 幼稚園

2. わたしらよい子 明るい子
みんな力を よせあって
きれいなお花を咲かせましょう
楽しい楽しい 幼稚園

3. わたしらよい子 素直な子
みんな仲良く 輪になって
お手々つないで あそびましょう
楽しい楽しい 幼稚園